

2019/11/06

· Helix Core : 2019.1

いつも、高速ソフトウェア構成管理ツール Perforce Helix をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
このドキュメントでは、弊社が2019年11月にリリースしたPerforce Helix (Helix Core : 2019.1) へアップグレードされる場合の
注意事項について説明いたします。

- アップグレードを行うには、ライセンスファイルが有効でなければなりません。
失効したライセンスでは、アップグレードした Helix Core を起動できません。
- アップグレードの前には、データベースのチェックポイントを作成し、バージョン化ファイルとともにバックアップしてください。
- いったんアップグレードしたデータベースは、ダウングレードできません。
- アップグレード前のバージョンが 2013.2 以下である場合は、スキーマのアップデート (p4d -xu) を行う前に、データベースフォーマットのアップデート (p4d 2017.2 によるチェックポイントからのリストア) が必要です。
- P4D2019.1より、"db.archmap"テーブルが廃止され、"db.storage"テーブルが代わりに新設されました。
"db.storage"テーブルは"db.rev"テーブルから構築されます。
"db.rev"テーブルのサイズが大きい場合、これにより、"p4d -xu"コマンド実行に時間がかかる場合があるため、コマンドを途中終了しないように注意してください。データベースフォーマットのアップデート手順は、次のとおりです。

1. Helix Core (p4d) を停止させます。
2. 旧バージョンの p4d を使って、データベースのチェックポイントを作成します。(p4d -jc)
3. 現状のデータベース (db.* ファイル) を別の場所に退避します。
4. バージョン 2019.1 の p4d を使って、そのチェックポイントから新規のデータベースをリストアします。(p4d -jr)

お問い合わせ先

株式会社東陽テクニカ ソフトウェア・ソリューション
 Performe 技術サポート ss_support@toyo.co.jp
 TEL 03-3245-1248
 FAX 03-3246-0645

弊社ホームページでは、Perforce の製品情報や技術情報を公開しております。
ご参考にしていただければ幸いです。
<http://www.toyo.co.jp/ss/perforce/>